

- 2～3 より良い睡眠のために／少年サポートセンターひろしま／市立8校協働の高校生の取り組み／住宅防火・防災キャンペーン など
- 4～5 **特集** ちょっと早起きして朝市へ
- 6～8 暮らしのガイド、施設のイベント



◀ 広報紙がスマホで読めます(10言語対応)



来年
3/22 (日)

閉城迫る、 広島城天守

広島城天守は、老朽化などを理由に来年3月に閉城します。閉城前に天守内部を見学しませんか。
 園文化振興課 (☎504-2869、☎504-2066)

広島城天守のあの頃

<p>▶江戸時代後期に描かれた天守(広島城下絵屏風より) 広島城蔵</p>	<p>▶原爆投下の爆風により、天守を失った広島城 個人蔵 提供・広島城</p>	<p>▶着工からわずか10カ月で復元 撮影・明田弘司氏 提供・市公文書館</p>
---------------------------------------	---	--

大きな時代のうねりを越えて

広島城天守は、毛利輝元によって、安土桃山時代に築られました。その後、福島氏や浅野氏を城主に迎え、時代が移り変わる中、広島のみちを見守ってきました。しかし、1945年8月6日、原爆の爆風により天守は倒壊、門やぐらは焼失してしまいました。



撮影・米国戦略爆撃調査団 所蔵・米国国立公文書館

市民が待ち望んだ復活

1958年に「広島復興大博覧会」の会場として、多くの市民の支持により広島城天守が復元されました。復元された天守は、鉄筋コンクリート造りで、倒壊以前の外観を模し、博覧会後に「広島城郷土館」の名称で博物館として開館しました。

再建から68年の歴史に幕

その後、天守は広島市の武家文化を紹介する博物館として、長年にわたり親しまれてきました。しかし、コンクリートの劣化や設備の老朽化などの問題から安全面を考慮し、このたび、68年の歴史に幕を閉じ、その役目

は、広島城三の丸歴史館に引き継ぐことになりました。

残された時間はあとわずか

来年3月の天守閉城までの時間はあとわずかです。閉城に向けて、企画展などのさまざまなイベントを予定しています。イベントに参加するなど、広島城天守での思い出を作りませんか。なお、閉城後も天守の外観は引き続き鑑賞できます。

同施設の観覧料などは、本紙8頁に掲載しています。

その他の情報など、詳しくは、広島城ホームページで。



天守閉城記念イベント 「雅楽」公演会

【日時】10月4日(土)17:00から(16:30開場)
 【場所】広島城本丸(雨天の場合、二の丸復元建物内)
 【内容】管弦楽と舞楽を楽しむ
 【出演】古弾の会
 ※椅子席120席(当日先着、自由席)、立ち見も可



この記事は、主に右記SDGsのゴールの達成に役立つものです。
 【SDGs…持続可能な開発目標】

